

東武博物館主催

向島文化
サロン
〈ご案内〉

アンネ・フランクと イスラエル

2023年10月のパレスチナ人武装集団「ハマス」による
イスラエル市民に対する大規模なテロ攻撃以来、
パレスチナとイスラエルをめぐる対立は世界中の国々で
社会の分断を浮かび上がらせました。

なぜそうなったのでしょうか？

新聞記者として中東紛争とアンネ・フランクとホロコーストを
取材した経験から解き明かします。

第1回 2025年 **2月16日(日)** 午後2時～3時30分

アンネ・フランクを探して

日本でもっとも有名なユダヤ人はアンネ・フランクでしょう。アンネの非業の死から約半世紀後、私はオランダ、ドイツ、イスラエルでアンネを取材しました。イスラエルが2,000年を経て故地に復活したのはアンネをはじめとするホロコーストの犠牲者600万人の悲劇が基礎になっています。この取材からホロコーストとイスラエル建国の意味を考えます。

第2回 2025年 **3月16日(日)** 午後2時～3時30分

アラブ・イスラエル紛争とは何か

イスラエルが位置する中東は日本からはるかに遠くにあります。このためか、アラブ・イスラエル紛争を日本人が正確に理解できているとはいえません。紛争の基本構造は何なのか。日本のメディアはもちろん、欧米メディアさえも実は必ずしも正確に報道しているわけではないのです。その歴史と背景は複雑です。



講師

萩谷 順

【はぎたに じゅん】法政大学名誉教授
朝日新聞記者33年。政治記者、カイロ、ウィーン、ボント特派員を務める。
「久米宏のニュースステーション」はじめ、テレビ朝日系列の報道番組に
キャスター、コメンテーターとして20年余出演。2005年から法政大学法
学部教授として「ヨーロッパ政治史」「マスコミュニケーション論」などの
講義を担当した。全国で講演多数。

【場 所】東武博物館ホール
東武スカイツリーライン 東向島駅下車
※詳しくは裏面をご覧ください。

【定 員】110名(応募多数の場合は抽選)

【参加費】無料

【応募条件】第1回・第2回の講演は2回1セットの応募
(個別の応募はできません)

【主 催】東武博物館

【応募方法】ハガキとインターネットによる2通りの応募が可能です。

ハガキの場合 裏面に「講演会タイトル」を明記の上、お客様の氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号をご記入いただき、ご郵送ください。

インターネットの場合 東武友の会のホームページ(www.tobu-tomonokai.co.jp)にアクセスの上、「向島文化サロン」のバナーをクリック。
上記同様の必要事項をご入力の上、送信してください。

【宛 先】〒171-8512 東京都豊島区西池袋1-1-25 東武友の会「向島文化サロン」T係

●当選者には約1週間を目途に、当選ハガキ(入場券)を発送させていただきます。

※一度に複数名のご応募はできません。(複数名が記入されたハガキは無効となります。)1回の応募で1名様のみ有効となります。

応募締切

2025年 **1月22日(水)** 必着

【お問合せ】 **東武友の会** TEL.03-5951-5248 www.tobu-tomonokai.co.jp

※講演のテーマ内容に変更になる場合もございますので、ご了承ください。 ※ご応募いただきました方の個人情報は、当選ハガキ発送以外の目的で使用することはありません。

参加費無料